

五所川原市立地適正化計画(案)のパブリックコメントを実施します

市では、人口減少および少子高齢化の進行が見込まれる中であっても、将来にわたり持続可能な都市経営を目指すため、一定の区域内に居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地誘導を図るとともに、地域公共交通の再編と連携した、市民が安心して暮らし続けられるまちづくり方針となる『五所川原市立地適正化計画(計画期間：2019年度～2039年度)』の作成に取り組んでおり、この程、計画案を作成しましたので、市民の皆さんからの意見を募集します。

意見募集期間…12月28日(金)～1月27日(日)

閲覧場所…都市計画課、市役所・各総合支所行政資料スペース、市ホームページ

意見の提出について

▷様式は任意とし、使用する言語は日本語とします。

▷住所・氏名を記載の上、郵送、FAXまたは電子メールで提出してください。

*住所・氏名の記載のないものは、提出意見として取り扱わない場合があります。

お問い合わせ・意見の提出先

〒037-8686 五所川原市字布屋町41番地1

都市計画課 内線2634 FAX 35-3617

電子メール 1805pbc@city.goshogawara.lg.jp

五所川原市立地適正化計画(案) 説明会を開催します

『五所川原市立地適正化計画(案)』について、計画への理解を深めていくことを目的に下記の日程で説明会を開催しますので、多数の方のご来場をお待ちしています。

日時…1月16日(水) 18:00～

1月19日(土) 13:30～

場所…市役所2階 会議室2B、2C

備考…計画(案)は、都市計画課、市役所・各総合支所行政資料スペース、市ホームページで閲覧可能です。

問…都市計画課 内線2634

『乗って応援!! みんなの津軽鉄道』実施中

年間目標利用者数30万人を目指して、皆さんで乗って支えていきましょう。

乗って応援!! みんなの津軽鉄道	
平成30年度目標乗車人数	300,000人
平成30年10月までの乗車人数	110,855人
速報!! 平成30年11月の乗車人数	11,485人
目標達成まで あと・・・	177,660人

問…津軽鉄道活性化協議会事務局
(都市計画課 内線2635)

ストーブ一番列車出発セレモニー



12月1日、雪が降る中、冬の風物詩「ストーブ列車」の出発セレモニーが、津軽五所川原駅ホームで行われました。セレモニーでは、津軽鉄道株式会社の澤田長二郎社長が「ストーブ列車の運行は1930年に始まり、新元号となる来年以降も運行を継続したい」とあいさつしました。

セレモニーには津軽鉄道イメージキャラクター「つてっちー」と津軽鉄道活性化促進チーム「津鉄ア・モーレ」の皆さんが駆けつけ、一番列車の出発を見送りました。

列車には、台湾や首都圏からの観光客ら約120名が乗車し、石炭が赤々と燃える、だるまストーブで体を温め、するめや飲み物を楽しみながら、真っ白な田園地帯の風景を車窓から楽しんでいました。

ストーブ列車は3月31日まで運行されます。

融雪溝をご利用の皆さんへ

過年度、市外において融雪溝に転落し、死亡事例があったことや、限られた資源で効率的な融雪をおこなうためにも、次のことに注意してご利用ください。

▷火災・水害時や融雪溝内の凍結等で水が流れていない場合には投雪しない。

▷近隣で協力し、車道脇の雪を投げ道路をひろく、見通しをよくする(投雪作業中は通行車両に注意する)。

▷投雪口に子どもが近寄らないようにする。

▷雪の塊は砕いて投雪する(雪きり網は外さない)。

▷投雪口の雪を排除してからふたを閉め、ふた・取手が浮き上がっていないか確認する。

▷ふたを開けやすくするために角材やパイプを挟むことは、通行する際に大変危険なため絶対にやめる。

問…土木課 内線2612